

末永朱胤教授 略歴および研究業績

略歴

1953 年長崎市生まれ

学位

言語学博士、パリ第十大学

最終学歴

1983 年 3 月 中央大学文学部文学科仏文専攻卒業

1985 年 3 月 中央大学大学院文学研究科仏文専攻博士前期課程修了

1988 年 3 月 中央大学大学院文学研究科仏文専攻博士後期課程単位取得満期退学

2003 年 7 月 パリ第十大学博士課程言語科学科博士論文課程修了

職歴

1997 年 4 月 成城大学文芸学部専任講師

2000 年 4 月 成城大学文芸学部助教授

2007 年 4 月 成城大学文芸学部准教授

2019 年 4 月 成城大学文芸学部教授（現在にいたる）

専門領域 言語学

所属学会 Cercle Ferdinand de Saussure、日本言語学会、日本記号学会、日本フランス語フランス文学会等

主要業績

【著書】

Saussure, un système de paradoxes – langue, parole, arbitraire et inconscient (『ソシュール、逆説の体系—言語、発話、恣意性、無意識』) 2005年6月、Lambert-Lucas, Limoges

【論文】

- 1988 「ラング／パロール論の射程」『中大仏文研究』第20号、中大仏文研究会
- 1992 「ラングとその影—ソシュールの社会的ラングと個人的ラング」『中大仏文研究』第24号、中大仏文研究会
- 1993 « La notion de langue saussurienne et le problème de la communication » パリ第10大学 DEA 学位論文、言語科学科
- 1993 「語の上の語—ソシュール、記号の逆説」加賀野井ほか編『言語哲学の地平—丸山圭三郎の世界』夏目書房
- 1995 「ソシュールにおける『言語（学）的なるもの』をめぐって—F. ガデ『ソシュール言語学入門』（新曜社）から」『フィロロジ』No. 6、現代言語論研究会
- 1996 「言語とその外—ソシュールの記号の恣意性について」『中大仏文研究』第28号、中大仏文研究会
- 1997 「言語のペルソナー—ソシュールの言語概念とバンヴェニストのディスクール論」『中大仏文研究』第29号、中大仏文研究会
- 1997 「言語（ラング）の地平線—ソシュールとバンヴェニスト」『フィロロジ』No. 7、現代言語論研究会
- 1997 « Benveniste et Saussure: l'instance de discours et la théorie du signe » in Cl.

- Normand et M. Arrivé (Dir.), *Emile Benveniste vingt ans après*, numéro spécial de *LINX*, 1997.
- 1997 「力としての言語—ソシュールのラング／パロール概念再考」『成城文藝』160号
- 1998 「遂行的なものとしてのラング—ソシュールの言語概念再考—」『フランス語フランス文学研究』No. 73.
- 1999 「ラングとララング—ソシュールとラカンにおける言語概念と記号の恣意性」『ヨーロッパ文化研究』第18集
- 1999 « Des deux arbitraires, absolu et relatif, à un arbitraire « primaire » -- le fait linguistique et le devenir du signe chez Saussure » in *Cahiers Ferdinand de Saussure* 52, Genève, Droz
- 2002 « Saussure, un système de paradoxes - langue, parole, arbitraire, inconscient » パリ第10大学博士学位論文、言語学専攻（「ソシュール、逆説の体系—言語、発話、恣意性、無意識」）
- 2004 « Le saussurisme au Japon au XX^e siècle » in *Cahiers Ferdinand de Saussure* 56, Genève, Droz（「二十世紀日本におけるソシュール受容」）
- 2011 「ソシュールの記号概念と聴き手の立場：記号の図の矢印について」『ヨーロッパ文化研究』第30集
- 2011 「人称論としてのバンヴェニスト—バイイ、オースティンと対照して」『井原鉄雄中央大学教授退職記念論文集』、井原鉄雄中央大学教授退職記念論文集編集委員会
- 2018 「時枝論争とソシュールの言語概念—言語における主体と実体」『成城文藝』246号

【口頭発表】

学会発表「ソシユールの「社会的ラング」と「個人的ラング」、日本フランス語フランス文学会秋季大会、於長崎外国語短期大学、1991年10月27日

学会発表《Benveniste et Saussure : l'instance de discours et la théorie du signe》「バンヴェニストとソシユール：談話出現と記号理論」、国際シンポジウム《Emile Benveniste vingt ans après》「エミール・バンヴェニスト、没後20年」、C・ノルマン&M・アリヴェ主催、於フランス、スリジー・ラ・サル、1995年8月18日

学会発表「ソシユールの恣意性の原理について－絶対的恣意性と相対的恣意性」、日本フランス語フランス文学会春季大会、於早稲田大学、1996年6月2日

学会発表「ソシユールにおける記号と言語の概念」、JST異分野研究者交流フォーラム「情報－物理、生物、工学、人文社会科学の視点から－」科学技術振興事業団主催、於パシフィコ横浜、1998年3月18日

学会発表「遂行的なものとしてのラング－ソシユールの言語概念再考」、日本フランス語フランス文学会春季大会、於成城大学、1998年5月31日

学会発表《L'arbitraire du signe et le réel lacanien》「記号の恣意性とラカンのレエル」、国際シンポジウム《Linguistique et psychanalyse》「言語学と精神分析」、C・ノルマン&M・アリヴェ主催、於フランス、スリジー・ラ・サル、1998年9月6日

学会発表「ソシユールとラカンにおける言語－恣意性とレエル」、日本フランス語フランス文学会秋季大会、於大阪大学、1998年10月25日

学会発表《Le saussurisme au Japon au XX^e siècle》「二十世紀日本におけるソシユール受容」、研究集会「Ferdinand de Saussure, 1878-2001: les réceptions」 「フェルディナン・ド・ソシユール、1878-2001：受容」、フェルディナン・ド・ソシユール学院主催、於スイス、アルシャン、2001年6月23日

学会発表《Les mots *sur* les mots — une certaine opacité du texte saussurien》「語の上の

語—ソシュールのテキストの或る不透明さ」、国際シンポジウム “Ferdinand de Saussure: Linguistique générale et théorie du langage” 「フェルディナン・ド・ソシュール：一般言語学と言語理論」、於ベルギー、ルーバン大学、2004年6月4-5日

学会発表《Manuscripts de Saussure: une science fiction》「ソシュールの手稿：或る空想科学」、国際研究集会 “Philologie et critique génétique. Enjeux théoriques de l'édition des manuscrits de Saussure” 「文献学と生成批評。ソシュール手稿刊行の理論的賭け金」、於ベルギー、リエージュ大学、2011年4月1日

学会発表（招待講演）《La place du sujet entendant dans la théorie saussurienne – un problème de flèches entre CLG et ses sources manuscrites》「ソシュール理論における聞く主体の位置：『一般言語学講義』と手稿の間にある矢印の問題」、国際シンポジウム「ソシュール思想の人文科学における遺産」、韓国記号学会主催、於韓国ソウル、高麗大学、2013年11月2日

講演《L'histoire de la réception du saussurisme au Japon》「日本におけるソシュール受容の歴史」於ピエール・スイリー教授大学院ゼミナール、ジュネーヴ大学文学部東アジア学科、2014年2月20日

学会発表《Un problème de traduction dans la réception du saussurisme au Japon》「日本のソシュール受容における翻訳の問題」、国際シンポジウム《CLG 1916-2016 L'ÉMERGENCE》「一般言語学講義 1916-2016 出現」、於スイス、ジュネーヴ大学、2017年1月9日～14日

【その他】

〈フランス語教科書〉『サ・ヴァ！』駿河台出版社、1991年4月（田辺保子ほかと共著）

- 〈フランス語教科書〉『サリュ！』駿河台出版社、2004年4月（田辺保子ほかと共著）
- 〈書評〉「丸山圭三郎『言葉とは何か』夏目書房1994」『フィロロジ』No. 5、現代言語論研究会、1994年12月
- 〈追悼文〉「翳に消えゆく声—丸山圭三郎先生を偲ぶ」『中大仏文研究』第27号、中大仏文研究会、1995年3月
- 〈概説〉「言葉について—ソシュールの言語理論から」『成城教育』120号、2003年6月
- 〈追悼文〉「ソシュール学の泰斗エンゲラー氏逝く」『ふらんす』白水社、2004年1月
- 〈書評〉「加賀野井秀一著『知の教科書 ソシュール』」『週刊読書人』2004年7月16日
- 〈文庫解説〉「丸山理論とソシュール」、丸山圭三郎『言葉・狂気・エロス』講談社学術文庫、2007年10月
- 〈文庫解説〉丸山圭三郎『ソシュールを読む』講談社学術文庫、2012年7月
- 〈副読本〉「都市・身体・言語—パリはガンダムか」、成城大学文芸学部ヨーロッパ文化学科編『シリーズ・ヨーロッパの文化③ヨーロッパと都市』、成城大学文芸学部、2016年5月
- 〈副読本〉「言語・人間・怪物—鉄腕アトムとフランケンシュタインの怪物」、成城大学文芸学部ヨーロッパ文化学科編『シリーズ・ヨーロッパの文化⑤ヨーロッパと怪物』、成城大学文芸学部、2018年6月
- 〈エッセイ〉「言語にとりソーシャルディスタンスとは何か」、『ヨーロッパ文化研究』第41集、成城大学大学院文学研究科ヨーロッパ文化専攻、2022年3月